

第2期氷見市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）概要

データヘルス計画
(平成30～35年度)

医療制度改革
(医療費と介護の適正化)

KDBシステムを活用
(国保データベースシステム)

市の課題把握
目標の設定

保健事業の計画・実施

評価

1 健診・保健指導

平成28年度 (法定報告値)

	市	目標値
受診率	45.7%	60%
保健指導率	32.8%	60%

未受診者

治療中で健診未受診

未受診者の61%

2,799人

2 メタボリックシンドローム該当者の把握

	H25年度		H28年度
メタボ該当者	23.2%	⇒	23.9%
メタボ予備群	11.2%	⇒	8.8%

3 血糖値の高い人の割合 (HbA1c5.6以上)

	H25年度		H28年度
男性	66.6%	⇒	74.1%
女性	70.2%	⇒	79.1%

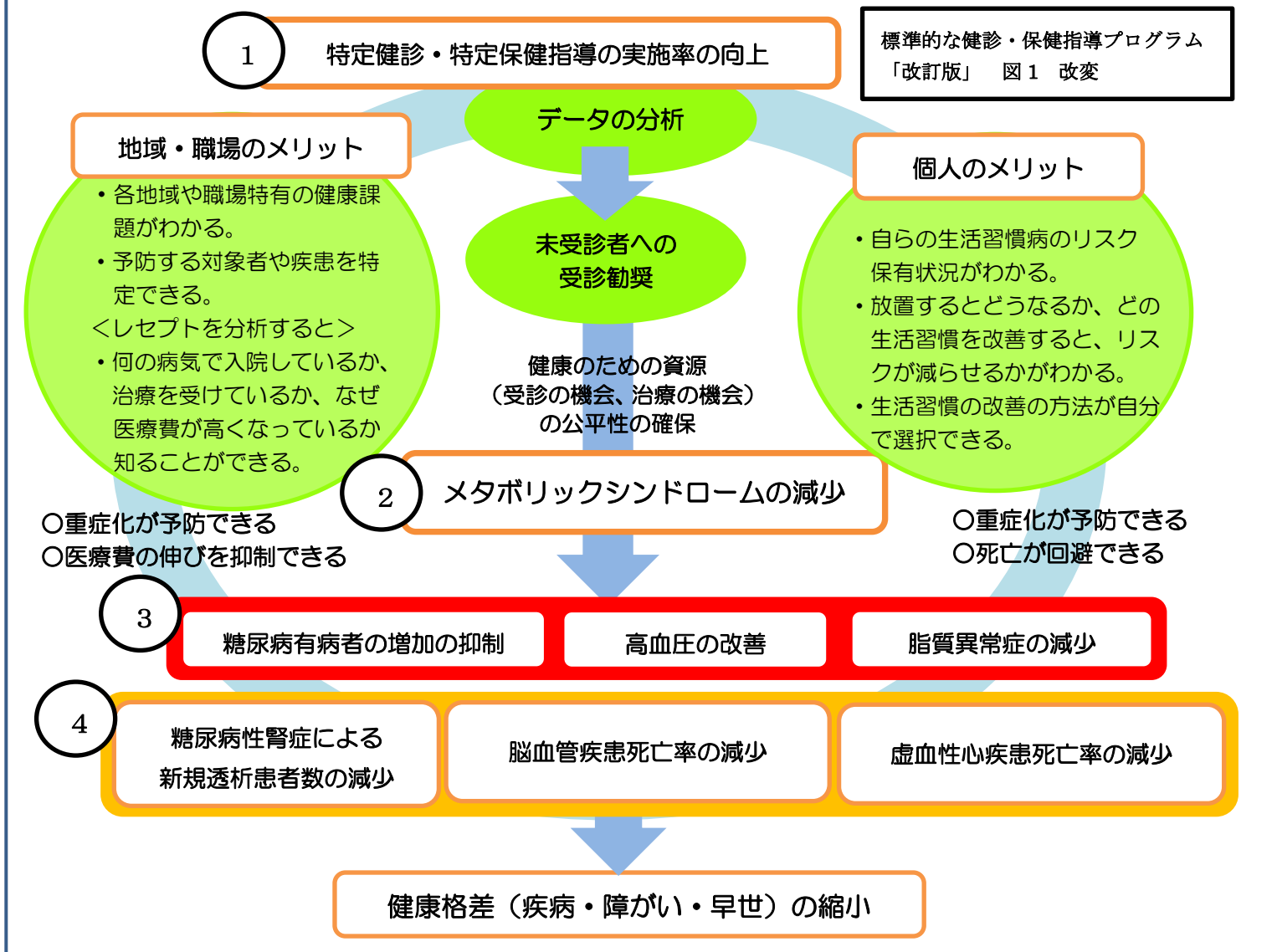
4

高額になる疾患 (入院+外来、基準額(80万)以上レセ集計)

	H25年度		⇒	H28年度		差額
	人数	費用額		人数	費用額	
虚血性心疾患	17	3,351万円	⇒	23	5,021万円	1,670万円
脳血管疾患	30	8,791万円	⇒	32	8,481万円	△310万円
がん	101	19,406万円	⇒	115	29,453万円	10,047万円
その他	212	44,776万円	⇒	215	49,416万円	4,640万円

特定健診・特定保健指導と健康日本21 (第2次)

—特定健診・保健指導のメリットを活かし、健康日本21 (第2次) を着実に推進— (厚生労働省様式)



平成28年度データで分析

総医療費 (国保事業状況より)

H25年度	H28年度	差額(伸び率)
37億4,500万円	37億円	△4,500万円(△1.2%)

一人あたりの医療費 (1ヶ月分)

市	同規模平均	県	国
27,662円	25,581円	26,717円	24,245円

一人あたりの生活習慣病治療費 (1ヶ月分)

健診受診者	9,167円
健診未受診者	33,490円

重症化予防者の把握

	重症化予防対象者	メタボリックシンドローム	糖尿病
治療中	1,061人	764人	155人
治療なし	482人	200人	261人

未受診者の状況

健診も治療も受けていない人 (健診対象者に対する割合)	1,769人 (21%)
--------------------------------	--------------

体の状態が把握できない

介護 (重症化の結果)

	市	同規模平均
1件あたりの給付費	66,206円	61,245円
1号認定者(認定率)	20.7%	20.2%
要介護認定別医療費	認定あり	8,506円
	認定なし	4,349円
	8,027円	3,808円

【市の課題】

- ◎1人あたりの医療費が高い。
- ◎メタボ該当者が多く、生活習慣病の発症リスクが高い。
- ◎特定健診等の受診率は目標値よりも低い。

【中・長期目標】

- ◎虚血性心疾患や脳血管疾患、糖尿病性腎症を減らし、医療費を抑制する。

【短期目標】

- ◎高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドローム該当者の減少
- ◎健診受診率及び特定保健指導実施率の向上